

日本音楽知覚認知学会 平成 29 年（2017 年）第 2 回理事会 議事録

日時：平成 29 年（2017 年）11 月 4 日（土曜）午前 11 時 00 分～13 時 00 分

場所：松江テルサ

参加者：（順不同・敬称略） 中島祥好、谷口高士、山崎晃男、川上央、星野悦子、松本じゅん子、森下修次、小堀聡、小川容子、菅千索、三雲真理子、上田和夫、安井希子、西村明、中田隆行、三浦雅展

議題

1. 会長の臨時交代について：中島祥好会長

中島祥好会長が福岡で開催された国際学会の実行委員長に就いたため、10/22～11/5 の間、三浦雅展副会長に会長を代行する旨が審議され、承認された。

2. 平成 29 年度秋季研究発表会選奨およびポスター発表選奨について：三雲真理子理事（学会賞担当）

平成 29 年度秋季研究発表会については、授賞対象となる 35 歳以下の発表者がいないため、選考を行わないことが審議され、了承された。また、ポスター発表選奨については、5 件の対象発表があり、これまでと同様の選定方法が提案され、了承された。また、ポスター選奨についての規定を明文化し、進めることが承認された。

3. 国際活動支援基金の有効活用について：吉野巖常任理事（総務担当）

APSCOM 6 若手発表支援の選考結果が報告された。APSCOM 6 の準備資金として国際活動支援基金から組織委員会に対して融通した 600000 円の全額が返還されたことが報告された。また、現在の残額について報告された。さらに、ICMPC15 若手発表支援についての方針が示され、総額 1 2 万程度として認められた。また審査委員長と審査委員について、山崎晃男常任理事を委員長とし、吉野巖常任理事と羽藤律理事が委員として就任することとなった。

4. 顧問（非会員）について：中島祥好会長

顧問の推薦について議論された。今後、推薦基準などについて継続的に審議することになった。

5. 「音楽知覚認知研究」査読規定について：星野悦子監事（学会誌編集委員長）

理事会メーリングリスト上で議論された査読規定について再度議論された。原案に対して特に異論などはなく承認された。また、学会誌の電子化を J-STAGE を当面利用して行なうことが昨年 10 月の理事会で承認されており、引き続きそのための準備を進めることとなった。

6. 平成 30 年度春季研究発表会、および秋季研究発表会について：谷口高士副会長、松本じゅん子理事（研究発表会担当）

平成 30 年度春季研究発表会は、新潟県佐渡市で開催されることとなった。また、同年秋季研究発表会については、11～12 月頃に龍谷大学深草キャンパスで開催される旨が審議され、承認された。日程は 4 月中旬に決めることが承認された。

7. 研究発表会の宣伝強化について：三浦雅展副会長

他学会での広告として、他学会へのメーリングリストに流す案や、他の学会の研究発表会において本会によるオーガナイズドセッションを実施する案、フライヤーを配布する案などについて議論した。特に関係学会のメーリングリストの情報を三浦雅展副会長まで送ることが承認された。

## 報告

### 1. APSCOM 大会報告：山崎晃男常任理事（国際渉外担当/APSCOM 副会長）

APSCOM の事業報告および予算の報告がなされた。

### 2. APSCOM 総会報告：山崎晃男常任理事（国際渉外担当/APSCOM 副会長）

APSCOM 総会の報告がなされ、次の APSCOM 会長については現在進行中であることが報告された。次回の APSCOM は ICMPC と合同開催となるが、現在検討中であることが報告された。

### 3. 平成 29 年度春季研究発表会研究選奨授賞者、およびポスター発表選奨授賞者について：三雲真理子理事（学会賞担当）

平成 29 年度春季研究発表会での選奨は対象者無しであることが報告された。また、同ポスター発表選奨として、林直登（金沢工大・院）氏への授賞が報告された。

### 4. 平成 29 年度秋季研究発表会 研究選奨選考委員の委嘱について：三雲真理子理事（学会賞担当）

授賞対象がいいため、委嘱は行なわれないことが確認された。

### 5. 「音楽知覚認知研究」論文賞について：小堀聡理事（学会賞担当）

以下の 2 件の論文が授賞対象とすることが報告された。

米田 涼, 沖 将吾, 山田 真司「音楽ジャンルによる楽曲の経時的な印象変化の違いおよびこれらと楽曲全体の印象との関係」音楽知覚認知研究 21(1), 5-16, 2015

平山裕基、「演奏者の“あがり”経験の特徴に関する因子構造モデルの検討」, 音楽知覚認知研究 22(2), 89-102, 2017

### 6. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について：星野悦子監事（学会誌編集委員長）

第 23 巻第 1 号は、2017 年 10 月に刊行済みであり、第 2 号は 2018 年 3 月末に刊行予定であることが報告された。

### 7. 研究発表会における Easy Chair の利用について：谷口高士副会長、松本じゅん子理事、松永理恵幹事（研究発表会担当）

現在はフリー版を使っているが、ファイルを 1 つしか提出できないという制約があることが報告された。

### 8. 研究発表会幹事の退任について：谷口高士副会長、松本じゅん子理事（研究発表会担当）

松永理恵幹事（発表会幹事）が本務優先のため、退任されることが報告された。

以上